

ケチュア語への招待

青木芳夫

アンヘリカ・パロミーノ青木

一 はじめに

本稿の筆者の一人である青木芳夫は、近年、奈良大学文学部の世界遺産史学特殊講義でペルー・アンデス世界の生活文化を取り上げ、ラテンアメリカの代表的な先住民言語の一つであるケチュア語（ただし、ペルー・クスコ地方のケチュア語）を紹介している。テキスト・副教材として使用しているのは下記の文献である。

① アンヘリカ・パロミーノ青木『アンヘリカの現代ケチュア語入門（一）』（資料ラテンアメリカ、第一〇号、

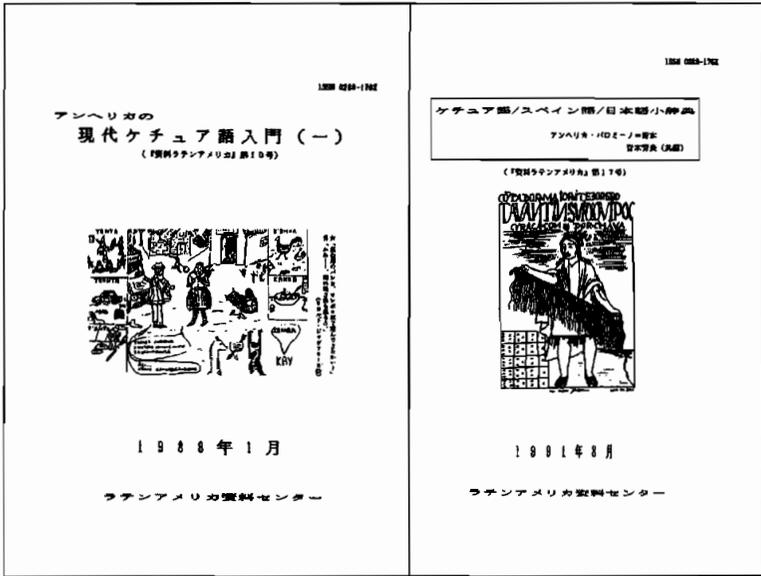
青木芳夫訳、ラテンアメリカ資料センター、一九八八年、品切れ）

② アンヘリカ・パロミーノ青木、青木芳夫『ケチュア語／スペイン語／日本語小辞典』（資料ラテンアメリカ、第一七号、ラテンアメリカ資料センター、一九九一年）

③ 青木芳夫、アンヘリカ・パロミーノ青木『ケチュア語の接辞』（奈良大学紀要）第二〇号、一九九二年

④ 同『ケチュア語の接辞（Ⅱ）』（奈良大学紀要）第二二号、一九九三年

ケチュア語の日本語教材



本稿では、そのうち、『アンヘリカの現代ケチュア語入門(一)』の内容を、大幅に改良し、日本の大学生向けに簡約化したものを紹介するとともに、補論として、「ケチュア語の数の表わし方」を追加した。紙数の関係上、『入門(一)』の第六課、語彙、接辞の詳しい説明、練習問題などは、省略した。

なお、関心があるなら、語彙については拙稿『小辞典』を、接辞の詳しい説明については拙稿の「接辞」および「接辞(Ⅱ)」を参照すること。

また、ケチュア語の表記は、一九七五年一〇月にペルー政府によって制定された正書法(教育大臣令第四〇二二—七五号)にはば準拠している。スペイン語からの借用語で、まだケチュア語に同化されていないものは、イタリックで表記してある(ただし、固有名詞は除く)。

さらに、ケチュア語は、日本語と同じく、接辞が重要な役割をえんじる膠着語の仲間であるから、ケチュア語の接辞の理解を助けるために、例文などは、すべてハイフンにより分かち書きしてある。

二 母音と子音

ケチュア語の母音は、アイマラ語と同じく、音素を基準に見れば、/a/、/i/、/u/の三母音である。しかし、特定の子音との関係で、iがeに変化したり、uがoに変化したりする。つまり、異音を生む。最近の正書法では、音素どおり三母音でもって表記するようになっていたが、本稿では、異音を含む五母音で表記することにした。筆者らが、七五年の正書法に慣れ親しんでいるからということもあるが、初めてケチュア語を学ぶ日本の大学生向けにはこのほうが便利であると考えられるからでもある。

したがって、クスコ地方のケチュア語の母音（五文字）と子音（二六文字）は、別表のようになる。

〔a〕母音

	前	中	後
高母音	i		u
中母音	e		o
低母音		a	

〔b〕子音

	唇	歯茎	硬口蓋	軟口蓋	後部軟口蓋	声門
閉鎖音	p	t		k	q	
破擦音			ch			
出気音	ph	th	chh	kh	qh	
放出音	p'	t'	ch'	k'	q'	
摩擦音		s	sh			h
鼻音	m	n	ñ			
側音		l	ll			
震音		r				
半母音	w		y			

なお、ペルーのクスコ・プーノ地方やボリビアのケチュア語のばあい、他の地方やエクアドルなどのケチュア語とは異なり、ボリビアを中心とする、やはり先住民民族言語のアイマラ語からの影響により、いくつかの子音で三種類の

発音の仕方がある。つまり、普通の発音の仕方以外に、出気音（または帯気音）と放出音（または破裂音）の区別がある。最初の間はとまどうかもしれないが、出気音や放出音のばあいは、子音と母音を同時に発音しようとは思わず、まず子音を発音する口唇の形を作り、それに続けて母音を発音するように練習すれば、出気音や放出音にもやがて慣れてくることだろう。

三 決まり文句

授業の始めと終わりの挨拶、それに感謝の仕方のみを、つぎに掲げておく。

元気ですか？

Allin-lla-chu?

元気です。

Allin-mi.

ありがとう。

Ancha-ta agradisi-yki.

また、明日。

Pagarin-kama.

また、会う日まで。

Tupa-na-nchis-kama.

お元気で（永い別れのはあじ）。Allin-lla-ya.

四 第一課 ケチュア語を話しますか？

【基本会話1】

Pedro: Qan, qheswa-ta rima-nki-chu?

Huan: Arí, noqa qheswa-ta rima-ni.

Pedro: Paykuna-pas qheswa-ta rima-nku-chu?

Huan: Arí, paykuna-pas qheswa-ta rima-nku.

Pedro: Allin-ta-chu rima-nkichis?

Huan: Mana allin-ta-chu rima-yku.

(訳) ペドロ「あなたは、ケチュア語を話しますか？」

ファン「はい、私はケチュア語を話します。」

ペドロ「彼らもケチュア語を話しますか？」

ファン「はい、彼らもケチュア語を話します。」

ペドロ「あなたがたはケチュア語を上手に話しますか？」

ファン「いいえ、私たちは上手には話せません。」

【文法1】人称代名詞（主格）と現在時制¹³

ケチュア語のばあい、動詞の活用語尾に相当する役割も、それぞれの接辞がえんじる。つまり、不規則変化する動詞は存在しない、と言いかえることができる。また、ケチュア語には、一人称複数は二種類ある。聞き手を含まない、話し手だけの「排他的一人称複数」と、聞き手をも含む「包括的一人称複数」の二種類である。rimay（話す）という動詞を例に取れば、つぎのようになる。

私は、話します。 Noga rimani.

あなたは、話します。 Qan riman-ki.

彼（女）は、話します。 Pay riman.

私たちは、話します。（排他的） Nogayku rimay-ku.

私たちは、話します。（包括的） Noganchis riman-chis.

あなたがたは、話します。 Qankuna riman-ki-chis.

彼（女）らは、話します。 Paykuna riman-ku.

【文法2】疑問詞のない疑問文

疑問詞のない疑問文は、接辞のchuを疑問とされる単語に接続することにより作成する。名詞や動詞とも、また形容詞や副詞とも接続することができる。

Tanta-ta muna-ki-chu?

（あなたは、パンがほしいのですか？）

Mana-chu qheswata riman-ki?

（あなたは、ケチュア語を話さないのですか？）

【文法3】否定文

ケチュア語の否定文は、mana……chuによって作成する。否定しようと思う単語にchuを接続することにより、作成する。

Pay mana qheswata riman-chu.

（彼は、ケチュア語を話さない。）

Pedro mana allin-ta-chu riman.

（ペドロは、上手には話せない。）

【その他の接辞】

ta（対格を表わす、「を」。形容詞を副詞に変える）

pas（並列を表わす、「も」）

五 第二課 あなたののお名前は？

【基本会話2】

Pedro: Señora, *Buenos días*.

Noriko: *Buenos días*, wiraqocha.

Pedro: Ima-taq suti-yki-ri?

Noriko: Noriko Tanaka suti-y. Qan-pa suti-yki-ri?

Pedro: Noqa-q suti-y-qa Pedro Tupa.

Noriko: May-manta-taq ka-nki-ri?

Pedro: Llaqta-y-qa Lima. Lima-manta ka-ni. Qan-ri?

Noriko: Noqaq llaqta-y-qa Tokio, Japon-manta ka-ni. May-pi-n wasi-yki?

Pedro: Wasi-y-qa Qosqo-pi-n. Haku-chu Qosqo-ta?

Noriko: Haku-yá kuska. Kay karritira Qosqo-man-chu ri-n?

Pedro: Arí, Qosqo-man-mi ri-n.

Noriko: Chhaynaqa, haku karru-pi.

(訳) ペドロ「おはよう。」

のり子「おはよう。」

ペドロ「あなたの名前は何といえますか？」

のり子「私の名前は田中のり子です。で、あなたの

名前は？」

ペドロ「私の名前はペドロ・トゥパです。」

のり子「あなたはどちらのご出身ですか？」

ペドロ「私の町はリマです。私はリマ出身です。で、

あなたは？」

のり子「私の町は東京です。私は日本出身です。あ

なたの家はどこにありますか？」

ペドロ「私の家はクスコにあります。クスコに行き

ませんか？」

のり子「一緒に行きましょう。この道路はクスコへ

通じていますか？」

ペドロ「はい、クスコに通じています。」

のり子「それでは、車で行きましょう。」

【文法4】所有の表わし方

〔a〕人称代名詞(所有格)に相当する接辞を使用する場合

私の y 私たちの(排他的) -yku

私たちの(包括的) -nichis

あなたの yki あなたがたの ykichis

彼(女)の u 彼(女)らの -nku

〔b〕所有の接辞を使用する場合

母音で終わる名詞や代名詞にはuを、子音で終わる名詞や代名詞にはpaという所有の接辞をそれぞれ付加して表現する。なお、uはqpaの形で使用されることが多い。また、〔a〕・〔b〕を一緒に使用することができる。

Pay-pa wasi-n-pi noga llank'a-ni.

(私は、彼の家で働きます。)

Huana-q (またはHuana-qpa) chakra-n-pi llank'a-yku.

(私たちは、フアナの畑で働きます。)

【文法5】疑問詞のある疑問文(1)

〔a〕 ima-y may

ケチュア語の疑問詞のばあい、さまざまな接辞と結合することにより、多様な疑問文をつくることができる。

ima 「なに?」

Ima-n kay? Kay-qa wasi-y-ni.

(これは何ですか? / これは私の家です。)

Ima-ta ruwa-sha-nki? Futbolta puklla-sha-ni.

(何をしているのですか? / サッカーをしています。)

may 「どう?」

May-pi-n qheswa-ta yacha-sha-nki? Nara Universidad-pi

yacha-shani.

(どこでケチュア語を習っているのですか? / 私は奈良大学で習っています。)

May-manta-n ka-nki? Yucay-manta ka-ni.

(どこのご出身ですか? / ユカイ出身です。)

〔b〕多様なニュアンスの疑問文

同じ意味の疑問文でも、使用する接辞の種類などによっては、ニュアンスが微妙に異なってくる。たとえば、「お名前は?」という疑問文でも、つぎのように少なくとも二通りの表現方法がある。

Ima suti-yki?

(警官による職務質問のばあい
なに? 紋切り型の表現)

Ima-n suti-yki? (普通の表現)

Ima-taq suti-yki-ri? (ていねいな表現)

【文法⑤】 kay-動詞

kay-という動詞は、存在(「ある」)や所有(「持っている」)、あるいは状態・性格・職業など(「である」)を表わす動詞である。後者の意味の場合、三人称単数現在では省略されることが多い。

Noqa-qa yachacheq ka-ni. Pay-pas yachacheq-yá.

(私は教師です。彼も教師ですよ。)

Kay-neq-pi-qa mana yachay wasi-qa kan-chu.

(このあたりには、学校はありません。)

【その他の接辞】

-taq……-ri (音調を表わす)

-mi -n (前者は子音の後、後者は母音の後に接続し、音調を表わす)

し、音調を表わす)

-qa (話題を表わす、「は」)

-pi (時間的・空間的な場を表わす、「に」「で」)

-man -ta (移動する方向を表わす、「へ」「に」)

-manla (時間的・空間的な起点を表わす、「から」)

-ya (喜びや共感などの感情を表わす)

六 第三課 お元気ですか？

【基本会話3】

Berna:	Noriko, allin-lla-chu kasha-nki?
Noriko:	Arí, allin-lla-n kasha-ni. Qan-ri?
Berna:	Noqa-pas allin-lla.
Noriko:	May-ta-taq ri-sha-nki-ri?
Berna:	T'anta-man-mi risha-ni. Qan-ri?
Noriko:	Noqa-pas t'anta qhatu-man ri-sha-ni.
Berna:	Qhatu-qa llaqta ukhu-pi-n.
Noriko:	Chhaynaqa haku-yá usqhay-ta.
Berna:	Chaki-pi-chu karru-pi-chu?
Noriko:	Haku chaki-pi.

(訳) ベルナ「のり子さん、お元気ですか。」

のり子「はい、元気です。で、あなたは？」

ベルナ「私も元気です。」

のり子「どちらへお出かけですか？」

ベルナ「パンを買いに行くところですか。で、あなたは？」
のり子「私もパン市場へ行くところですよ。」

ベルナ「市場は町の中央にあります。」

のり子「それでは、急いで行きましょ。」

ベルナ「徒歩ですか、車ですか？」

のり子「歩いて行きましょ。」

【文法7】動詞の進行形の作り方

動詞の進行形は、時制のいかんにかかわらず、動詞の語幹と語尾に相当する接辞とのあいだに、*-sha*という接辞を追加することにより、作成する。たとえば、現在時制のばあい、*iyu*（行く）という動詞を例にとれば、つぎのようになる。

私は行くところですよ。 *Noga ri-sha-ni.*

あなたは行くところですよ。 *Qan ri-sha-nku.*

彼（女）は行くところですよ。 *Pay ri-shan.*

私たち（排他的）は行くところですよ。

Nogayku ri-sha-yku.

私たち（包括的）は行くところですよ。

Noganchis ri-sha-nchis.

あなたがたは行くところですよ。 *Qankuna ri-sha-nkichis.*

彼（女）らは行くところですよ。 *Paykuna ri-sha-nku.*

【文法8】*kashay*動詞⁶⁾

*kashay*という動詞は、*ka-y*動詞の進行形から生まれた動詞であり、たつた今の状態や所在（「いる」）を表わす動詞である。

Noga alin-lla kasha-ni.

（私は元気ですよ。）

Hagay-pi wakanchis-kuna kasha-nku.

（あそこに私たちの牛たちがいます。）

【その他の接辞】

-man（移動する目的や対象、例えば取得や参加、を表わす、「へ」「に」）

-lla（「あいかわらず」というニュアンスを表わす）

-pi（通信や運搬の手段を表わす、「で」）

七 第四課 あれは何ですか？

Hiroshi: Ima-n haqay?
 Miguel: Haqay-qa sara chakra-n.
 Hiroshi: Kay llaqta-pi-qa papa-pas wiña-n-chu?
 Miguel: Arí, kay-pi-qa sara-pas papa-pas allin-ta-yá ruru-n.
 Hiroshi: Qankuna-q chakra-ykichis-rí may-neq-pi-taq?
 Miguel: Noqayku-q chakra-yku-qa mayu-neq-pi.
 Hiroshi: Chay-pi-pas sara-chu wiña-sha-n?
 Miguel: Arí. Chay sara-ta-n mikhu-yku. Qan-pa chakra-yki kan-chu?
 Hiroshi: Arí, kan-mi Tokio-pi. Chay-pi-qa arros-lla wiña-sha-n.

(訳) ひろし「あれは何ですか？」

ミゲル「あれはトウモロコシ畑です。」

ひろし「この町では、ジャガイモも育ちますか？」

ミゲル「はい、ここでは、トウモロコシもジャガイモ

もよくとれます。」

ひろし「あなたがたの畑はどのあたりですか？」

ミゲル「私たちの畑は川のほとりにあります。」

ひろし「そこでは、トウモロコシが育っていますか？」

ミゲル「はい。私たちはそのトウモロコシを食べます。

あなたは畑をもっていますか？」

ひろし「はい、東京にあります。そこではコメだけが

育っています。」

【文法9】指示語

ケチュア語の指示語の「これ」、「それ」、「あれ」は、それぞれ *kay*、*chay*、*haqay* であり、これらはまた、「この」、「その」、「あの」としても使用される。また、接辞を追加することにより、さまざまな意味に使用することができる。

【その他の接辞】

-neq (近辺を表わす、「……のあたり」)

-lla (限定を表わす、「だけ」)

Hiroshi: Pancho, hayk'a wata-yoq ka-nki?

Pancho: Iskay chunka wata-yoq ka-ni. Qan-rí?

Hiroshi: Noqa-qa kuraq-ni-yki ka-ni. Ña kinsa chunka wata-yoq-ña ka-ni.

Pancho: Hayk'aq-taq phista-yki-ri?

Hiroshi: Iskay p'unchay *mayo* killa-pi. Pancho, awilu-cha-yki kawsa-sha-n-raq-chu?

Pancho: Arí, isqon chunka wata-yoq-ña kasha-n. Awila-cha-y-pas kawsa-sha-n-raq-mi. Pay-qa pusaq chunka wata-yoq.

Hiroshi: Hayk'a-taq wayqe-pana-yki-kuna-ri?

Pancho: Huk kuraq wayqe-y, kinsa-taq sullk'a pana-y-kuna.

Hiroshi: Sullk'a pana-cha-yki-rí hayk'a wata-yoq-ña-taq?

Pancho: Pay-qa chunka wata-lla-yoq-raq-mi.

Hiroshi: Ima-taq suti-n-ri?

Pancho: Lina-cha suti-n. Pay-lla-wan aqha-ta aqha-yku. Wasi-yoq-pas aqha-yku-ta ukya-n.

Hiroshi: Chhaynaqa wasi-yoq-wan kuska-chu tiya-nkichis?

Pancho: Mana kuska-chu. Ichaqa sapa p'unchay wasi-yku-ta hamu-n.

Hiroshi: Wasi-yoq-ni-ykichis qhapaq-chu?

Pancho: Riki. Pay-qa qhapaq-yá, karru-yoq, waka-kuna-yoq ima. Ichaqa karru-n-pi noqa-puwan phutilla-ta Qosqo-man apa-yku.

(訳) ひろし 「パンチヨ、あなたは何才ですか?」

パンチヨ 「二〇才です。で、あなたは?」

ひろし 「私はあなたより年上です。もう三〇才です。」

パンチヨ 「あなたの誕生日はいつですか?」

ひろし 「五月二日です。パンチヨ、あなたのおじ

いさんはご健在ですか?」

パンチヨ 「はい、もう九〇才です。私の祖母もまだ

健在で、八〇才です。」

ひろし 「あなたのご兄弟は何人ですか?」

パンチヨ 「兄が一人で、妹が三人です。」

ひろし 「妹さんは何才ですか?」

パンチヨ 「妹はまだ一〇才です。」

ひろし 「お名前は何といますか?」

パンチヨ 「リナです。私は、この妹と二人だけでチ

ャ酒をつくりまます。大家さんも私たち

のつくったチチャ酒を飲みます。」

ひろし 「それでは、大家さんと一緒に住んでいる

のですか?」

パンチヨ 「一緒ではありません。しかし、毎日私た

ちの家に來ます。」

ひろし 「あなたがたの大家さんはお金持ちですか?」

パンチヨ 「そうですとも。彼はお金持ちです。車も、牛も、いろいろもっています。しかし、

彼の手で私と一緒にクスコヘイチゴを運んでくれます。」

【文法10】疑問詞のある疑問文(2)

hayka 「くく?」

Hayka-taq huk tuta-ri? Huk tuta-qa mikhuna-puwan

pisqa dollar. (一泊は、いくらですか? / 食事代込みで、

一泊五ドルです。)

haykaq 「くく?」

Haykaq kasara-ku-ranki? Na chunka wata-ra. (あなた

は、いつ結婚なさいましたか? / 一〇年前です。)

【文法11】数の表わし方……補論を参照すること。

【文法12】比較の表わし方

ケチュア語の比較の表わし方には、いろいろある。「も

っと年上」という場合には、*aswan kurqa* のように *aswan*

という副詞を前に置く。だれかと比較する場合は、*-manta*

を使用することもできるが、普通は所有表現を利用する。

Pay-qa noqa-manta kurag-ni. (彼は、私よりも年上です)

Pay-qa (noqa-q) kurag-ni-y. (彼は、私の年上です。)

【親族名称】

アンデス社会は、かつて男女双系社会であった。その名残が親族名称にも残っており、話者が男性と女性では親族名称が違うばあいがある。基本会話の例では、話者のパンチヨは男性だから、自分の兄弟のことを wayqe、姉妹のことを pana と呼んでいる。当事者が女性の場合は、彼女の兄弟は tura、姉妹は nana と呼ばれる。同じように、当事者が父のばあい、息子は churi、娘は ususi と呼ばれる。ただし、家庭の中では、子どもは一般に（特に母親から） wawa と呼ばれる。親族名称一般については、第六課〔省略〕を参照すること。

【その他の接辞】

-kuna (複数形を作る)

-yoq (持っていることやもっている人を表わす)

-ni (子音で終わる名詞と人称代名詞の所有格とを

接続したり、子音で終わる二の位の数詞と-yoq

-cha (親愛を表わす)

+raq (時間がまだ来っていないことを表わす、「まだ」)

+ra (時間がすぎていることを表わす、「すでに」)

-wan (同伴を表わす、「と一緒に」)

+wani (追加的の同伴を表わす、「と一緒に」)

〈補論〉ケチュア語の数の表わし方

I 基数

ケチュア語の基数は、以下の通りである。

〔a〕一から一〇まで

1	huk
2	iskay
3	kinsa
4	tawa
5	pisqa
6	soqta
7	qanchis
8	pusaq
9	isqon
10	chunka
11	chunka huk-ni-yoq
12	chunka iskay-ni-yoq
13	chunka kinsa-yoq
14	chunka tawa-yoq
15	chunka pisqa-yoq
16	chunka soqta-yoq
17	chunka qanchis-ni-yoq
18	chunka pusaq-ni-yoq
19	chunka isqon-ni-yoq
20	iskay chunka

21	iskay chunka huk-ni-yoq
30	kinsa chunka
32	kinsa chunka iskay-ni-yoq
40	tawa chunka
50	pisqa chunka
60	soqta chunka
70	qanchis chunka
80	pusaq chunka
90	isqon chunka
100	pachak
111	pachak chunka huk-ni-yoq
220	iskay pachak iskay chunka
303	kinsa pachak kinsa-yoq
990	isqon pachak isqon chunka
1,000	waranqa
2,000	iskay waranqa
10,000	chunka waranqa
100,000	pachak waranqa
1,000,000	hunu
1,000,022	hunu iskay chunka iskay-ni-yoq

II 序数

ケチュア語の序数は、基数に名詞「ñegen」（順番・位階・等級）を複合することにより作成する。

第1 (の)	huk ñegen
第2 (の)	iskay ñegen
第3 (の)	kinsa ñegen
第4 (の)	tawa ñegen
第5 (の)	pisqa ñegen
第6 (の)	soqta ñegen
第7 (の)	qanchis ñegen
第8 (の)	pusaq ñegen
第9 (の)	isqon ñegen
第10 (の)	chunka ñegen
第11 (の)	chunka huk-ni-yoq ñegen

ただし、この序数の形は、本や教科書の章を数えるばあいくらいしか、現実には使用されない。

【例】 huk ñegen yachana (第一課)

iskay ñegen rimana (第二課)

なお、たとえば並んでいる人やものの順番を数える場合には、別の表現が使用される。つまり、基数を「-kaq」(kay動詞の語幹+接辞q、「〜番目」にあるもの)と複合させることにより作成する。

【例】 kinsa-kaq-ta apa-mu-wa-y.

(三番目のものを私のところまで持ってきてください。)

III 年齢の表記法

ケチュア語では年齢は、原則として基数＋「wata-yoq」で表現する。なお、「wata-yoq」を省略することもできる。

【例】 Hayka wata-yoq kanki? Tawa chunka tawa-yoq(wata-yoq) kani. (あなたは何才ですか。／私は四四才です。)

IV 時間の表記法

第一に、ケチュア語では、年は「wata」、月は「killa」、そして日は「punchay」であり、年月日はそれらと基数を複合させることにより表現する。なお、曜日や月の名は現在ではスペイン語からの借用語である。

【例】 chunka iskay-ni-yoq p'unchay octubre killa-pi waranga isgon pachak isgon chunka iskay-ni-yoq wata-pi (一九九二年一〇月二二日)

Cristóbal Colón-qa America-man chayara-n chunka iskay-ni-yoq p'unchay(-pi) octubre killa-pi waranga tawa pachak isgon chunka iskay-ni-yoq wata-pi. (クリストバル・コロンは、一四九二年一〇月二二日にアメリカに到達した。)

第二に、時刻については、スペイン語から時・分などを

借用して、つぎのように表現することができる。

【例】 Ima horas-mi? Isgon horas-ña. (何時ですか?／もう九時です。)

Kartu-qa tuta-ta puri-rin-qa pusaq horas kinsa chunka minuto-pi. (車は、夜の八時三〇分に出発します。)

Hayka unay-pi-n chayay-man chaki-pi? Kinsa chunka minuto-pi-chá. (歩くど、どのくらいかかりますか?／三〇分でしょう。)

その他、時間の表現法には、つぎのような例をあげることができらる。

【例】 Nogayku-qa chunka wata-ña kasa-ra-sqa kayku. (私は、結婚してつづいて一〇年になります。)

Noqa chunka pisqa-yoq wata-yoq kasha-qi-y, mama-y-qa wanu-pu-ra-n. (私がまだ一五才のときに、母は亡くなりました。)

V 数の表記法

ケチュア語では、基数と普通名詞を複合させることにより表現する。なお、数詞を伴うばあい、複数形を表わす接辞「kuna」は必要ない。

【例】 *Chunka iskay-ni-yoq t'anta-ta apa-mu-wa-y.* (二個のパンを私のところに持ってきて下さい。)

Chunka iskay-ni-yoq-ta apa-mu-wa-y. (二個、私のところへ持ってきて下さい。)

VI 度量衡の表記法

メートル法⁽¹⁾によって表記する場合は、スペイン語を借用して、つぎのように表現することができる。

【例】 *Noqa-qa huk metro soqta chunka centímetro sayay-ni-yoq kani, peso-y-taq soqta chunka kilo.* (私は、身長が一六八センチで、体重は六〇キロです。)

VII 値段の表記法

【例】 *Chay-ri hayk'a qolqe-paq-mi?* (それは、いくらですか?)

Chunka t'anta-qa iskay soles-paq. (パンは、一〇個で二ソルです。)

Hayk'a-taq huk tuta-ri? (一泊は、いくらですか?)

【注】

(1) ペルー政府は、ボリビア政府が一九八四年に制定したケチュア語やアイマラ語の正書法に準拠して、翌年にケチュア語の「公式アルファベット」を制定した。クスコ地方でも、二言語教育の教科書をはじめ、筆者らが関わったアンデス司牧研究所も今日ではこれを採用している。ただ、クスコ市に本部があるケチュア語学会はまだ、五母音表記を維持している。また、*Laura Ladron de Guevara, Diccionario quechua, Lima, 1998*のように、五母音表記に基づく出版物も残っている。全般的な傾向は、アンデス世界全体においてケチュア語の標準化が、さまざまな分野で、推進されつつあることには変わりない。

なお、クスコという名称はスペイン語で *Cusco* とか *Cuzco* と表記されるが、クスコ市政府は、最近 *Qosqo* と表記するように規定した。三母音表記に基づいてケチュア語で表記するならば、*Qusqu* としなければならぬところである。

(2) この表現には、スペイン語の動詞 *agradecer* から借用・同化した *agradisi-y* が利用されている。かつて、ケチュア語には興味深い感謝の表現法があった。その一例が *yusulpayki* であり、直訳すれば、「神様があなたに支払ってください。」という意味になる。富や労働や相互扶助にかんするケチュア語世界の考え方を示唆するものとして重要である。

(3) 過去時制を表わす接辞は、*ta* もしくは *raqa* である。したが

って、動詞の語幹と、語尾に相当する接辞との間にそれらを接続させることにより、過去文を作成する。なお、現在文は、現在の意味だけでなく、完了の意味を表わすこともある。

【例】 *Mihu-ra-nki-ra-chu? Mana-raq mihu-ni-chu.* (一)飯を食べましたか? / また食べませんでした。

(4) ケチュア語という名称は、スペイン人による呼び方である。ウルバンバやユカイなどの「聖なる谷」が属するケチュア地帯の人々が話す言語というところから、こう呼ばれた。ケチュア語話者自身は、自分たちの言語を *runa simi* (人間の言葉) と呼んでいる。ただし、*runa* は一般的な人間を指すばあいもあるが、ミスティなどの非インディヘナに対する自分たち *ii* インディヘナを意味するばあいもある。

(5) *kay*-動詞と *kasha-y*-動詞の相違は、現在文を例にとれば、つぎのようになる。

【例】 *Kalipayoq kani.* (私は、力持ちです。)

Kalipayoq kasha-ni. (私は今、力がわいています。)

Sayq'usqa kani. (私は前から疲れていて、今も疲れてます。)

Sayq'usqa kasha-ni. (私は今、疲れています。でも、明日は元気になるかもしれません。)

(6) その他のおもな疑問詞には、つぎのようなものがある。
pi 「だれ?」

Pi-n kanki? Yachacheq kani. (あなたはどなたですか? /

私は教師です。)

Pi-wan parla-sha-nki? Wayqe-y-wan parla-sha-ni. (誰と話しているのですか? / 私の兄弟と話しています。)

maygen 「どれ?」

Maygen qar-pa (wasiy-ki)? Kay noqa-q (noqa-q wasiy). (あなたの(家)はどれですか? / 私のはこれです。)

imayna 「どのように?」

Imayna-lan kasha-nki? Allin-mi kasha-ni. (二) 機嫌いかがですか? / 私は元気です。)

ima rayku 「なんの目的で?」

Ima rayku Nara-man hamu-ra-nki? Daibutsu-ta riku-nay rayku hamu-ra-ni. (何の目的で奈良へ来られたのですか? / 私は大仏を見るために来ました。)

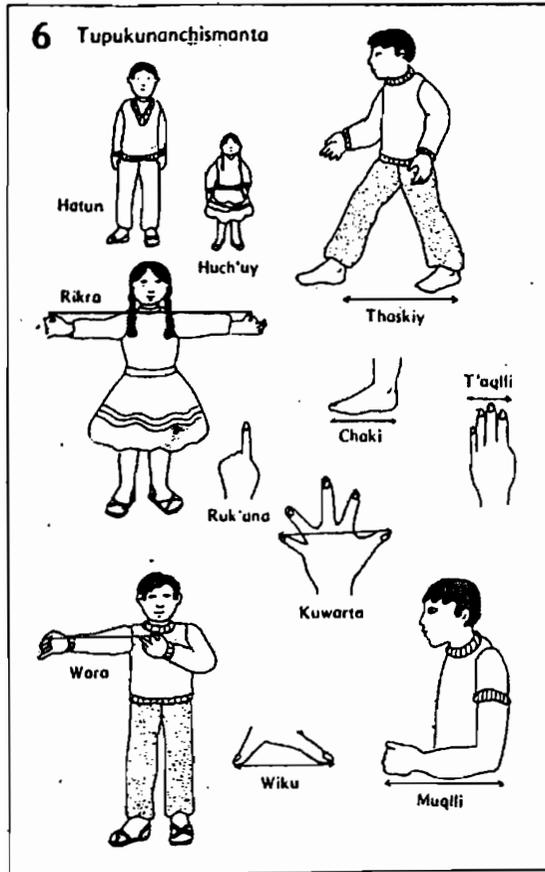
ima naqin 「なんの理由で?」

Ima naqin qolqet-a muna-nki? (なぜお金がほしいのですか?)

(7) 補論は、アンヘリカ・パロミーノ *ii* 青木、青木芳夫「ケチュア語の数詞」『資料ラテンアメリカ』第三〇号(一九九五年)に修正・加筆したものである。

(8) メートル法以前のいわゆる「身体尺」の例としては、ケチュア語のばあい、付図のようなものがあり、今日でも利用されるばあいがある。その他、*tupu* (トポ) という面積の単位は、成人一人が一年間に消費する穀物を産出できる面積を表わす「労働尺」(身体尺の一つ)である。

ケチュア語の身体尺



(出典) *Kawsayninchis: Guía metodológica para el desarrollo de la asignatura de ciencias naturales en el segundo grado de E. P. B.*, Annette Dietschy-Scheiterle, Mauricio Espinoza Ramos y Brindis Mamani de Ochoa, ed. validada, 1986, p.145.

古代日本の身体尺と比較すれば、Rikraは「ひろ」、Wikuは「あた」、T'aqlliは「つか」に相当しよう。